

ORE GENESIS OF GRANITE-RELATED Sn-W DEPOSIT IN TAGU AREA, MYEIK REGION, SOUTHERN MYANMAR

チョウ, トウ, トウン

<https://doi.org/10.15017/4060151>

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (工学) , 課程博士
バージョン :
権利関係 :



氏 名	チョウ トウ トウン			
論 文 題 名	ORE GENESIS OF GRANITE-RELATED Sn-W DEPOSIT IN TAGU AREA, MYEIK REGION, SOUTHERN MYANMAR (ミャンマー南部, バイ地方, タグ地域の花崗岩に伴うSn-W鉱床の成因)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	渡 邊 公 一 郎
	副 査	九州大学	教授	今 井 亮
	副 査	九州大学	教授	出 光 一 哉
	副 査	九州大学	准教授	米 津 幸 太 郎

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、ミャンマー南部、バイ地方、タグ地域の錫タングステン鉱床の鉱化作用について、岩石学的および地球化学的性質、鉱物の共生関係、流体包有物マイクロサーモメトリーなどに基づく詳細な研究を行い、その成因を明らかにし、新たな鉱床探査の指針を得たものであり、鉱床学分野における新知見を見出しており、資源工学上重要な業績であると認める。